第１１回甲信越臨床工学会 in 山梨　関係各位　　令和３年８月吉日

甲信越臨床工学技士連絡協議会
（一社）山梨県臨床工学技士会　会長　石井　仁士

第１１回甲信越臨床工学会 in 山梨開催について

日頃より甲信越臨床工学技士連絡協議会、また山梨県臨床工学技士会の活動に対して御理解ご協力頂き感謝いたします。

さて、令和3年１０月3日(日)に延期しておりました第１１回甲信越臨床工学会 in 山梨は新型コロナウィルス感染症の現状を踏まえ慎重に開催を検討してまいりましたが、現地開催を断念し一部内容を変更して WEB によるリモート配信とさせて頂きました。

この苦渋の決断には、度重なる緊急事態宣言や変異株による感染再拡大も懸念される事から、医療機関で働く臨床工学技士の皆様の感染や安全を考慮し、WEB 開催とさせて頂きました。会員の皆様・関係各位には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますがご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、現在、医療を取り巻く環境は高度化、多様化され国が進める地域包括医療制度では病床数の削減や医療の病院から地域への移行、また、働き方改革とめまぐるしく変化してきております。そんな中で今までの臨床工学技士に求められる専門性、知識や技術はもちろんの事ですが、医師のタスクシフト、在宅医療、介護医療、救急医療など新たな業務獲得の必要性が求められています。そこで、今回のテーマを「臨床工学技士における裾野から頂へ」としました。パネルディスカッションでは「CE　PRIDE改めて考える臨床工学技士の未来像」として各県会長に熱く語って頂き、特別講演、記念講演、一般演題を予定しております。

「裾野」とは山麓の緩やかな傾斜、「頂」とはてっぺん、目指す所などの意味があります。医療法も改正され、我々臨床工学技士業務もまだまだ十分裾野を広げる可能性があります。東京オリンピックは無観客でしたがスポーツの力で感動と勇気をもらいました。我々臨床工学技士も立ち止まってはいられません、WEB の利点を利用して本大会に参加された皆様の目指す頂きの道標になれば幸いです。

開催日程 ： 令和３年 10 月３日(日) WEB 配信